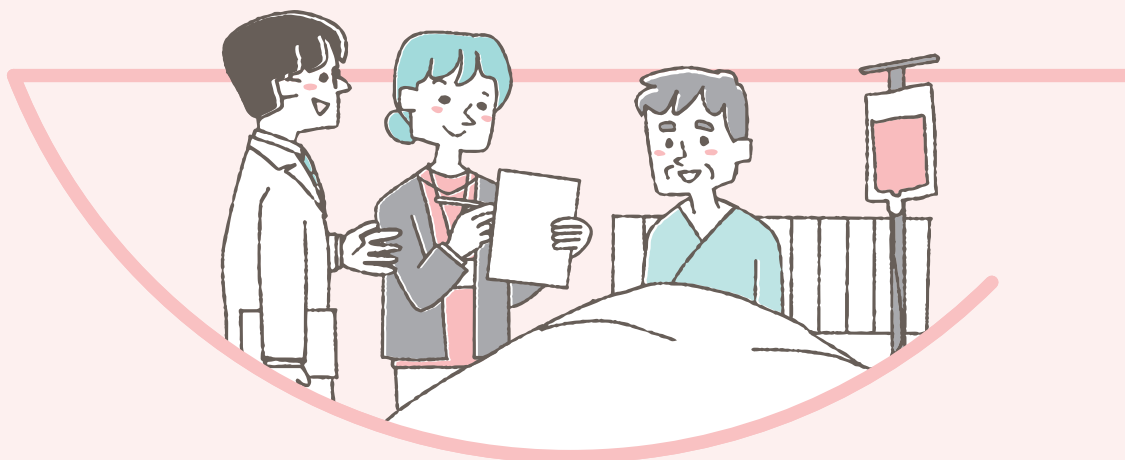


入院の際は必ず本誌をご持参ください



HOSPITALIZATION GUIDE

入院のご案内



入院予定日 月 日 曜日

(手術予定日 月 日 曜日)

●入院当日は 時頃に

☐ 本館1階3番 入院受付

☐ 救急外来受付(土・日・祝)

☐

へお越しください。

医療法人 原三信病院
HARASANSHIN HOSPITAL

入院の準備

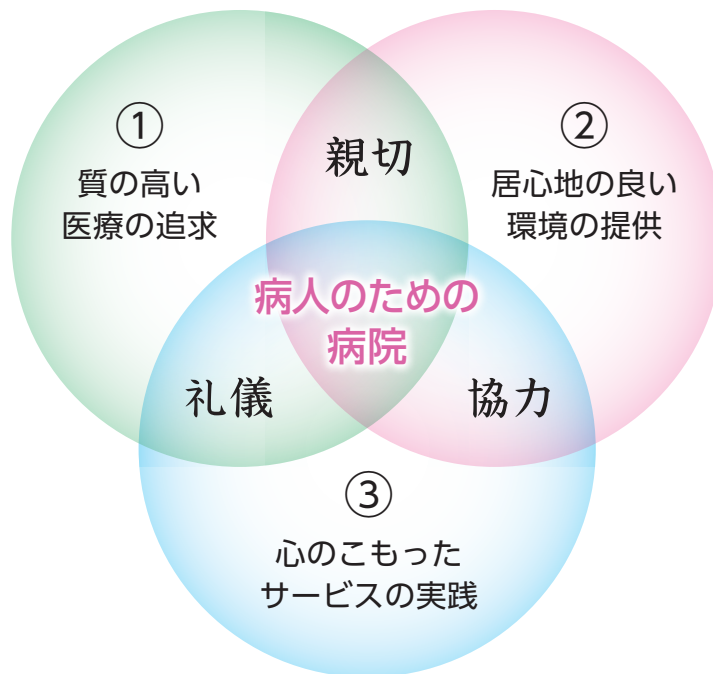
入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

原三信病院 理念・基本方針



患者様の権利と責務

原三信病院では患者様の権利を尊重し、信頼される医療を行うために
患者様の権利と責務に関する宣言をここに掲げます。

1. 良質の医療を受ける権利

適切で良質な医療を平等に継続して受ける権利があります。

2. 選択の自由の権利〔セカンドオピニオン〕

病院や医師を自由に選択し、または変更する権利と他の医師の意見を求める権利があります。

3. 情報を知る権利

治療や病状について真実を知り、納得ができるまで十分な説明を受ける権利があります。

4. 自己決定の権利

十分な説明を受け、治療を受ける権利と治療を受けることを拒否する権利があります。

5. 機密保持を得る権利

治療で医師や従事者が知り得た全てのプライバシーの機密保持を得る権利があります。

6. 尊厳を得る権利

尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるためのあらゆる可能な助力を受ける権利があります。

7. 情報を提供する責務

医師をはじめとする医療提供者に対し、自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。

8. 医療提供に支障を与えない責務

全ての患者様が、適切な医療を受けられるようにするため、患者様には、他の患者様の治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮する責務があります。

暴力や暴言、ハラスメントなどの行為により、他の患者様に迷惑がかかる場合や医療提供者の医療行為が妨げられた場合、診療を中止することがございます。

9. 医療費を適正に支払う責務

患者様は当院が適正に算定、請求した医療費を遅滞なく支払う責務があります。

入院のご案内について、
動画でもご視聴いただけます。



▲専用QRコード

個人情報の取り扱い

安全な治療のために、患者さんの個人情報は下記の通り取り扱います。

- 病室前、ベッドの枕元には、患者さんのお名前を掲示させていただきます。
- 治療および検査時に用いる点滴容器や薬袋などにはお名前を表示します。
終了後はお名前が分からないように処理をして廃棄します。
- 患者さんの食事には、お名前を記載した食札をお付けします。蓄尿が必要な方の蓄尿袋には、お名前を表示します。

個人情報取り扱いについてご希望がございましたら、職員までお申し出ください。お申し出がない場合には、同意いただけたものとして取り扱わせていただきます。また、いつでも変更、撤回などをすることができます。

ご協力のお願い

- 病状や治療方針などの説明を受ける際は、聞き間違いや誤解を防ぐため、できる限りご家族と一緒にお願いします。また、説明を受ける患者さん、ご家族は一度にお集まりください。
- 当院では、厚生労働省より発令された「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取り組み」に則り、緊急の場合を除き、病状の説明は原則として平日の診療時間内もしくは医師の指定する時間とさせていただきます。
- 宗教的信条、ドナーカード、人工呼吸器の使用や輸血に関するご希望など、治療に関する意思表示がある場合はお知らせください。
- 安全確保およびプライバシー保護のため、迷惑行為や写真・動画撮影並びに録音、SNS投稿について、病院敷地内一切禁止としております。ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。



— 目 次 —

1 入院の準備

入院の手続き・持ち物……………3

2 入院中の過ごし方

入院中の生活について……………5～8

患者さんの安全のために……………9～12

3 支援体制について

退院にむけた支援について……………13

4 退院・入院費用について

退院が決定した患者さんへ……………15

入院診療費の計算方法について……………16

高額療養費制度……………17

診断書・証明書について……………18

5 相談窓口・施設案内

各種相談窓口のご案内……………19

本館1階フロアマップ……………20

病院敷地図・立面図……………21

入院の準備

入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

入院の手続き・持ち物

ホームページからも
ご覧いただけます。



▲専用QRコード

確認させていただくもの — 受付で確認 —

- ☐ 診察券
- ☐ マイナンバー(※1)または健康保険証(資格確認書)



お持ちの方

- ☐ 高齢受給者証
- ☐ 医療福祉費受給者証
- ☐ 限度額適用認定証(※2)
- ☐ 介護保険証

*保険証、各種医療証は確認後ご返却いたします。入院中に
変更や更新がありましたら、各病棟のスタッフステーション
にお申し出ください。

※1 当院に設置のカードリーダーに
マイナンバーをかざして保険証
利用登録ができます。



※2 限度額適用認定証については17ページをご参照ください。

*チェック ☒ しながら
確認してください。

3番 入院受付



本館1階フロアマップ

▶ 拡大図は20ページにあります

提出していただくもの

- ☐ 入院申込書
- ☐ 各種同意書

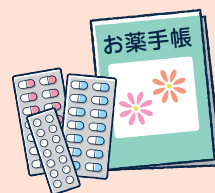


*ご不明な点がございましたら ☎ 092-291-3434 までお問い合わせください。

用意していただくもの

☐ 服用中のお薬

- ・予定入院期間分に多少余裕を持った日数分のみをご持参ください。(日分程度)
- ・目薬、吸入薬なども忘れずにご持参ください。
- ・現在服用していないお薬(過去の飲み残し分など)は持参不要です。



☐ お薬手帳

- ・持っていない場合は「お薬説明書」などをお持ちください。

☐ 中止の指示が出ているお薬

- ・いつから中止となるのか再度確認をお願いします。
- ・手術後に再開する場合があるので中止薬も必ずご持参ください。

他医療機関での処方・受診について

他院から処方されているお薬は当院では準備できない場合もありますので、現在服用中のお薬は全てご持参ください。また、他院へ定期通院されている方は入院前の受診をお勧めします。やむを得ず入院中に受診しなければならない方は、事前に職員にご相談ください。

☐ 下着

☐ 洗面・入浴用具

石鹸またはボディソープ、シャンプー、リンス、歯ブラシ
電気カミソリ、プラスチックコップなど



☐ パジャマ(寝間着)

☐ バスタオル

☐ タオル

有料のレンタルもごございます

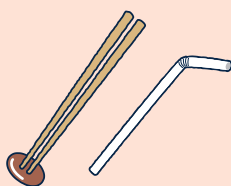
～レンタルのご案内～



入院に必要なものについては、入院セットをご用意しています。詳しくは別紙をご参照ください。

☐ 食事用具

箸、コップ(割れないもの)
ストローなど



☐ 履きもの

転倒予防シューズなど、靴タイプのもの(売店でも販売しています)
スリッパや樹脂製サンダルは禁止です ※9ページ参照



☐ マスク



☐ イヤホン

※多床室でのテレビ利用時に必要(売店で販売しています)



☐ ティッシュペーパー

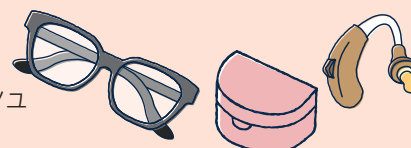


☐ 入院のご案内(この冊子)



☐ 必要時

義歯入れ、眼鏡、補聴器、爪切り、コンタクトレンズ、ビニール袋、ウェットティッシュ
洗濯用洗剤(コインランドリーを使用される方) ※粉末、液体どちらも使用可



※私物への記名をお願いいたします。

※当院では、刃物類・火気類・不要な紐類・アルコール飲料などの持ち込みを禁止しております。

入院の準備

入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

入院中の生活について

ホームページからも
ご覧いただけます。

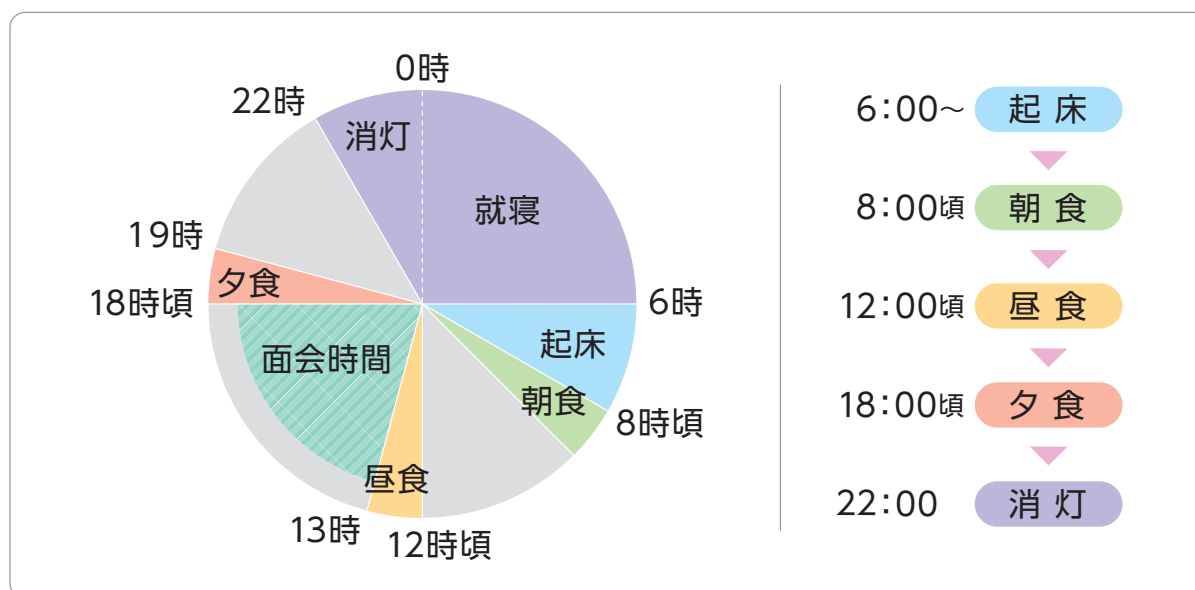


▲専用QRコード



入院中の生活について

時間割



- 22時～翌6時の洗面所の利用はご遠慮ください。
- 消灯後は、テレビ、携帯電話、照明の使用はご遠慮ください。



食事

一般食	食事内容に特別な制限のない方
治療食	糖尿病・心臓病・肝臓病・胆石・膵臓病・腎臓病・術後食など ※治療食の方は他の物を召し上げらないでください。

- 食事は適時適温にてお持ちします。
- 食事をお持ちする時間は病棟によって多少前後する場合があります。
- お茶は各階のティーサーバー（給湯器）をご利用ください。やけど防止のため、院内のティーサーバーのお湯の温度は60度に設定されております。

ティーサーバー利用時間

6:00～22:00



シャワー浴

- シャワー浴は主治医の許可が必要です。
- 予約制となっておりますので、ご希望の方は希望日当日に、各病棟のスタッフステーションでご予約をお願いします。





病室

- ベッドの空き状況により、入院予定日の変更をお願いすることがございます。
- 救急患者さんの病状により、夜間であっても病棟・病室を移っていただくことがありますのでご了承ください。
- 多床室でのベッド位置の希望(窓側など)はお受けできませんのでご了承ください。
- 個室のお申込みをいただいても都合により準備できない場合がございますので、ご了承ください。
- 病室入口の氏名掲示や院外からの電話取次ぎなど個人情報に関するご希望がある方はスタッフステーションへお申し出ください。



面会・外出・外泊

面会時間

13:00～19:00 ※月～金(平日)、土日、祝日問わず

- 面会時間は治療内容や状態によってご相談に応じますので、お気軽にお申し出ください。
- 面会に来られた方々に面会証の着用をお願いしております。
- 感染の恐れがありますので、中学生以下のお子様連れや、大勢の面会はお控えください。
- 病状により面会をお断りすることがあります。
- 病室内での面会の方の飲食はご遠慮ください。
- ご家族の入院中の付き添い(お泊り)は必要ありません。
- 入院中の外出・外泊は、主治医の許可が必要です。外出・外泊を希望される場合は、事前に主治医または看護師にお申し出のうえ、所定の用紙に記入していただきます。
- 血液内科病棟は面会制限がありますので、受付でご確認ください。



※感染症の流行状況により面会・外出・外泊を制限する場合がございます。最新の体制につきましてはホームページをご確認ください。



▲専用QRコード

入院の準備

入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

入院中の生活について

ホームページからも
ご覧いただけます。



▲専用QRコード



院内設備について

洗濯(コインランドリー)

設置場所	ご利用可能時間	洗濯機	乾燥機
本館3階(南側)、本館5階、東館4～8階	8:00～20:00	200円/1回	100円/1回

●両替機はございませんのであらかじめ小銭をご準備ください。

※東館8階のコインランドリーは、血液内科病棟専用です。



テレビ・冷蔵庫

カード(テレビ・冷蔵庫併用)	テレビ	冷蔵庫
1,000円	16時間45分	100円/1日
3,000円 ※売店でのみ販売	50時間15分	

●床頭台のテレビおよび冷蔵庫を利用される場合は、専用のカード(有料)が必要です。

カードは各病棟または売店で購入できます。(余ったカードは退院時に売店で精算できます。)

●大部屋の場合、他の患者さんのご迷惑とならないようイヤホンを使用してご利用ください。
イヤホンは売店で販売しています。

●消灯後(22時以降)のテレビのご利用は、同室患者さんの睡眠の妨げになるため、ご遠慮ください。



公衆電話

公衆電話	[本館] 1階、3～5階	[東館] 1階
------	--------------	---------



その他ご案内

売店 ▶20ページ フロアマップを参照

場 所	営業時間	
本館1階	月～金(平日)	土日祝
	8:00～19:00	10:00～17:00 ※土日祝の13:30～14:30は昼休みのため閉店

※オムツ・イヤホン・テレビカードなども販売しています。

※売店の営業時間に変更になる可能性があります。



ATM(西日本シティ銀行) ▶20ページ フロアマップを参照

設置場所	ご利用可能時間		
本館1階入院受付前	月～金(平日)	土曜日	日祝日
	9:00～19:00	9:00～17:00	利用不可

●他行のご利用や、ご利用になる時間によっては手数料が発生します。

●お取り扱い内容によってはご利用可能時間が異なります。



注意事項

電子機器

使用できる時間帯

8:00～22:00

- 携帯電話は所定の場所でご使用ください。
※病室内での通話をご遠慮ください。
 - 病院内での電子機器の利用は他の患者さんのご迷惑にならないよう場所とマナーを守ってご使用ください。
 - 音や光が他の方のご迷惑にならないように、ご配慮ください。多床室では、声を出してのリモートワーク(テレワーク)やオンライン授業などは他の患者さんのご迷惑になりますのでご遠慮ください。
 - プライバシー保護のため、写真・動画撮影並びに録音、SNS投稿については一切禁止しています。
 - 外部委託で有料のWi-Fiを提供しています。詳しくは別紙を参照ください。
▶ 右の専用QRコードからも接続いただけます。
- ※ 電子機器：携帯電話、スマートフォン、タブレット、ノートパソコン、携帯ゲーム機、携帯DVDプレイヤーなど



▲専用QRコード



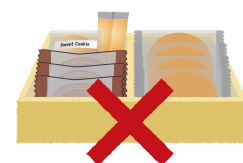
貴重品

- 盗難防止のため多額の現金や貴重品のお持ち込みをご遠慮ください。
 - 床頭台の引き出しにセーフティボックスを設置していますので、貴重品の管理にご利用ください。(セーフティボックスの鍵または暗証番号の管理には十分に注意してください。)
- ※ セーフティボックスの鍵を紛失・破損した場合には鍵の代金として1,800円(税込)をいただきますので予めご了承ください。
- ※ 価格改定により、記載の金額(2025年4月現在)から変更になることがございます。ご了承ください。
- ベッドから離れる際は、貴重品は身につけていただくか、セーフティボックスを使用してください。
 - 金銭や私物(義歯・眼鏡・補聴器・時計・ノートパソコン・アクセサリなどの装飾品、装着品など)の管理については自己責任でお願いいたします。私物の紛失・盗難・破損などに関して、当院では一切の責任を負いかねます。



その他

- 入院期間中、病院の備品を破損・紛失した場合は実費をお支払いいただきます。
 - 電子体温計を破損・紛失した場合は再購入代として2,145円(税込)をお支払いいただきます。
- ※ 価格改定により、記載の金額(2025年4月現在)から変更になることがございます。ご了承ください。
- 院外からの電話の取次ぎは20時までとさせていただきます。
 - 当院では、医師・看護師への贈答品および謝礼はお断りしております。



入院の準備

入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

患者さんの安全のために

病院内では医療安全に努めています。

入院期間を安全にお過ごしいただくために、患者さんにもご協力をお願いしております。



患者さんの確認について

リストバンド

入院中は患者さんがご本人であることを確認させていただくために、**お名前や患者番号 (ID番号) など**を表示した**リストバンドの着用をお願いしております**。医療のあらゆる場面でリストバンドを使用して患者さんの確認を行っています。



▲リストバンド

お名前の確認

患者さん確認の際、リストバンドの確認に加え、**患者さんにフルネームと生年月日をお伝えいただいております**。患者間違いを防ぐために、何度もお名前をうかがう場合があります。



転落・転倒防止について

環境の変化や、病気やケガにより体力や運動機能が低下し、転倒・転落の危険が生じることがあります。以下の点にご注意ください。

履物

履物が原因で、つまずいたり、転んだりする場合があります。

- 転倒防止のため、**足のサイズにあった脱げにくいもの、底が滑りにくい履物**をご使用ください。
- かかとが低く、履き慣れた靴タイプのものが安全です。
- 樹脂製サンダルは転倒の危険性がありますので、ご使用を控えてください。
- 売店にて、転倒予防シューズを販売しております。購入の際はご相談ください。



▲転倒予防シューズ



▲樹脂製サンダル

ベッドの柵・高さ

- 患者さんの状況に合わせて高さを調整させていただく場合があります。
- ベッド柵は、転落防止のため必ず左右に一つずつ設置しております。
- ベッドの乗り降り時は、柵を持ち安全に移動してください。
- ベッドの上に立ち上がらないでください。

ナースコールについて

- いつでも手の届きやすいところに置いておきましょう。
- トイレへの移動時など、ふらつきや気分不快がある場合はナースコールでお知らせください。
- 病状により、動かれる際にナースコールでお知らせいただくよう説明があった場合は、必ずナースコールでお知らせください。
- 看護師へのご連絡や気分不快時にもナースコールでお知らせください。
- ※ ナースコールを遠慮され使用されないことで、転倒や転落などにつながる場合があります。
「これくらいは大丈夫」と過信されずに、ナースコールをご使用ください。



オーバーテーブル・床頭台・点滴スタンドなど

- オーバーテーブル、床頭台、点滴スタンドなどキャスター（車輪）が付いているものは、体重をかけたり、支えにしようとすると動いて危険です。立ち上がりの際やふらついた際に、支えにしないようご注意ください。



点滴を行っている場合

- 点滴スタンドにつかまって立ち上がる、寄りかかる、足を乗せることなどはしないでください。
- トイレに行く場合など、点滴台を押して歩行する場合はゆっくり歩いてください。また、通路での段差やカーテンなどに引っかからないよう充分にご注意ください。

車いす使用について

- 当院では転倒防止のため、車いすの自走は原則禁止させていただいております。
- 車いすの自走は、理学療法士からの指導が必要です。
- 車いすへの乗り降りの際は転倒の危険性がありますので、乗り降りについてご不明点やご不安な点がある場合はおたずねください。



外出・禁煙・禁酒について

- 安全のため、入院中の外出（近所のコンビニエンスストアなども含む）・外泊には主治医の許可が必要です。
- 入院中は禁煙（電子タバコを含む）・禁酒です。
- 当院は敷地内（本館5階庭園・東館4階庭園・駐車場周辺含む）全館禁煙となっております。
- 飲酒や、大声を出したり暴れたりして他の患者さんに迷惑をかける方は退院していただくことがあります。



刃物類・火気類・不要な紐類の危険物持ち込み禁止について

- 自傷他害の危険性のある、ハサミ・包丁（果物ナイフを含む）・カッターなどの刃物類やライターなどの火器類、ロープなどの不要な紐類は、安全管理上、病院内（病棟）に持ち込むことはできません。



災害発生時の対応

- 万が一、入院中に火災や災害が発生した場合は、職員の指示や館内放送に従ってください。また、避難する必要がある場合は、誘導する職員の後に付いて避難してください。

患者さんの安全のために



『せん妄』予防について

せん妄は、環境や体調の変化、手術や検査、薬の調整などによる心身への負担が原因で、意識が混乱した状態をいいます。認知症とは異なり突然発症し、個人差はありますが一過性である場合がほとんどです。対策をとることで発症を予防できる可能性があります。

『せん妄』になりやすい人の特徴として

- 高齢の方
- 物忘れが目立ってきた方
- 脳梗塞や脳出血になったことがある方
- 過去、入院時にせん妄症状がみられた方
- 睡眠薬を服用されている方
- アルコールをたくさん飲む習慣がある方

『せん妄』には以下の症状があります

- 夜眠れなくなる
- そわそわして落ち着かない
- 興奮する
- ぼーっとする
- 会話のつじつまが合わない
- 記憶があいまい
- 幻覚が見える・聞こえる



『せん妄』を予防するために

〈入院前の準備〉

下記について持参していただくものをご検討ください。

- 日時を確認するためのカレンダー・時計（置き時計）
- 周囲の環境が確認しやすいように普段使用している眼鏡・補聴器など
- 使い慣れた洗面道具・タオルなどの日用品

〈入院されたら〉

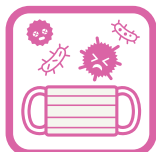
- カレンダー・時計は見える位置に置き、日時の確認を行ってください。
- 昼・夜の生活リズムを整えるために、可能な限り日中は起きてお過ごしください。
- 周囲の環境を確認していただくために、眼鏡・補聴器をご使用ください。
- 痛みや便秘、不眠など不快な症状は、せん妄を発症しやすい状況になりやすいため症状を取り除くことが重要です。我慢せず、早めにご相談ください。

『せん妄』が起こった時

精神的なストレスが大きくなるだけでなく、点滴やチューブなどを自分で抜いてしまい治療の継続が困難になったり、転倒・転落に至ることもあります。

精神的・身体的苦痛を最小にとどめるよう、医療チームで薬剤の調製や治療環境を調整しせん妄の治療にあたります。

予防・治療に際しては、ご家族のサポートが重要になりますのでご協力をお願いいたします。



感染防止

病院には、病気や治療で免疫力が低下した患者さんが多く入院されています。当院では、感染予防の基本である手指衛生をはじめとする対策に取り組んでおりますが、すべての患者さんの安全な療養生活のために、入院される患者さんならびにご家族を含む面会の方々へもご理解とご協力をお願いいたします。

入院患者さんへお願い

- 院内では**マスクの着用にご協力ください**。自室では外して構いませんが、職員や面会の方と会話される際には必ずマスクの着用をお願いします。
- 病室入口にある**手指消毒剤（成分：アルコール）**で手を消毒しましょう。
- 食事の前、トイレの後には石鹸と流水による手洗いをしましょう。
- 入院前に、ご自身が人にうつす可能性のある感染症と診断された場合は、**事前にご連絡ください**。（ご自身に症状がなくても、同居者に上記診断がある場合はご連絡ください。）



※ 感染管理上必要と判断された場合は、病室の移動や行動制限、面会制限などをお願いすることがあります。

ご家族ならびに面会の方へお願い

- ご来院時、また院内でも**マスクの着用にご協力ください**。
- 病室へ入室する前と、退室する時には**病室入り口の手指消毒剤**で手を消毒しましょう。
- 発熱、咳などのかぜ症状がある方、その他下痢、嘔吐、全身性の発疹などの症状がある方との面会はお断りさせていただきます。またご家族に感染症の診断がある場合には面会をお断りする場合がございます。
- 感染の恐れがありますので、中学生以下のお子様連れや、大勢の面会はお控えください。



* 感染症の流行状況などにより面会制限をする場合がございます。最新の体制につきましてはホームページをご確認いただけますようお願いいたします。



▲専用QRコード

ご協力をお願い

診療の現場では、患者さんに使用した注射針や器材などにより職員が受傷することがあります。そのようなことがないように細心の注意を払っておりますが、万が一発生してしまった場合には受傷した職員への適切な対応が必要なため、誠に恐縮ですが患者さんの血液検査（B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、後天性免疫不全症候群HIV）をお願いする場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。その際の検査費用は病院が負担いたします。

ご不明な点やお気付きのことがございましたら遠慮なくお声かけください。

退院にむけた支援について

ホームページからも
ご覧いただけます。



▲専用QRコード



入院から退院、退院から在宅まで継ぎ目のない支援を行います

原三信病院グループでは、治療と暮らしをサポートするため、治療ステージに応じて転棟・転院・退院の最適なタイミングをご案内しております。

医療法人 原三信病院



入院

1～2週間程度 急性期病棟

- 手術・処置
- 内科的処置
- リハビリ



2～6週間程度(最大60日)

地域包括ケア病棟

- 継続治療
- リハビリ
- 退院準備
- 介護保険申請



～急変時の受け入れなど～

急性期病棟について

重症または緊急度が高く早急に治療が必要な急性期の患者さんを治療する病棟です。急性期とはケガや病気になって間もない時期や病状が安定せず集中的な治療が必要な時期です。救急搬送された方やかかりつけ医から紹介された方、当院の外来診療を受けた方などで、検査・手術が必要な方を受け入れております。

●入院診療費について

入院費用は「DPC(包括支払い方式)」を採用しています。▶16ページを参照

地域包括ケア病棟について

入院治療の過程で急性期における手術や治療が終了し、すぐに退院するには不安のある患者さんへ在宅復帰や施設への入所に向けた医療・看護・リハビリを行うことを目的とした病棟です。また、在宅療養中に入院が必要となったとき、かかりつけ医から依頼を受けて支援する病棟です。その他、ご家族のレスパイトケアとしての支援も行っております。

※症状の変化により主治医が集中的な急性期治療が必要と判断した場合は、急性期一般病棟へ転棟することもあります。

状態が落ち着き急性期を脱したと医師が判断した患者さんには、早期の退院・転院をお願いしています。
急性期治療が必要な患者さんに入院ベッドを提供するため、ご理解とご協力をお願いします。
退院までの流れや退院後の生活など、ご不安な点がございましたら、各病棟の退院支援担当者や看護師、入退院支援センターの職員にお気軽にご相談ください。※入退院支援センター：月～金（平日）9:00～17:00

入院の準備

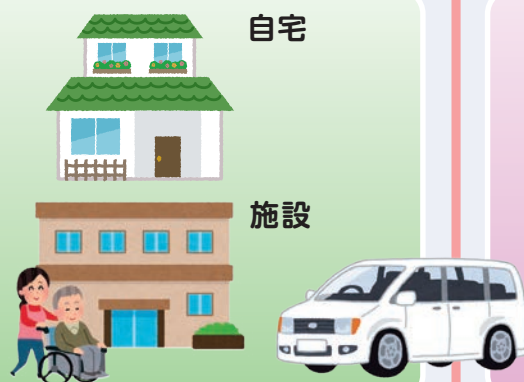
入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

退院（通院）



必要時

訪問看護ステーションおおはま
または地域の訪問看護ステーション

- 1人・老々世帯
- 在宅で継続治療・ケア
- 処置
- リハビリ
- 服薬支援
- 認知症・不安
- 痛みのコントロール



▶ 詳しくは
ホームページを
ご覧ください

転院

長期リハビリ2～4カ月程度・長期療養2カ月～数年程度

香椎原病院または地域の回復期病院

- 長期リハビリ
- 長期療養
- 緩和ケア

香椎原病院（原三信病院から車で20分）



紹介動画

▶ 詳しくは、香椎原病院ホームページをご覧ください

● 退院支援はどんな場合に対象になるの？

- ・ 退院するにはもう少し経過観察が必要な方
- ・ 継続的または集中的なリハビリが必要な方
- ・ 在宅復帰に向けた療養準備が必要な方
- ・ 介護施設などへの入所待機中の方

● 入院診療費について

「地域包括ケア病棟入院料2」を算定します。
定額で、入院基本料・投薬・注射・画像診断・リハビリなどが含まれます（一部、手術や透析などは含まれません）。

患者さんの生活の質（QOL）維持のためにも、
他職種で連携し、入院時から早期退院や
退院後に向けた支援を行っています

理学療法士など

医師

薬剤師

MSW

管理栄養士など

退院支援看護師



服薬支援

退院支援

リハビリ支援

栄養相談

退院が決定した患者さんへ



退院の流れ

退院が決定しましたら、以下の順序で退院となります。

- 1 退院前に、**退院療養計画書**および**必要書類・内服薬**などをお渡しします。
- 2 退院当日、お帰りになるまでに**リストバンドの取り外し、体温計の回収**を行います。
- 3 退院当日、事務担当者が**入院診療費請求書**を持ってまいりますのでお部屋でお待ちください。
(急な退院の場合は少々時間をいただく場合がございます)
- 4 入院診療費請求書を受け取られましたら、**スタッフステーションにお立ち寄り**いただいたあと、**入院診療費をお支払いいただき、退院**となります。

▶会計場所については下記参照

お忘れ物について

- お忘れ物が無いよう退院前に再度荷物の確認をお願いいたします。
- お忘れ物がありましたら、病棟で1カ月お預かりしますが、それ以降は処分させていただきますのでご了承ください。
- 冷蔵庫内に残っていたものは処分させていただきますので、あわせてご了承ください。



お支払い

入院診療費のお支払いについて

お支払い

- 入院診療費は、自動精算機または窓口でお支払いをお願いいたします。

▶20ページ(本館1階フロアマップ)を参照

ホームページからも
ご覧いただけます。



▲専用QRコード

会計時間	会計方法	窓 口	自動精算機
月～金(平日) 9:00～17:00		会計窓口(本館1階)	本館1階／東館1階
上記以外		救急外来受付(別館1階)	本館1階

※ 退院当日に入院診療費請求書をお渡しできない場合、郵送させていただきます。

※ クレジットカードでのお支払いも受け付けております。

※ スマホ決済サービスには対応していません。

※ 入院診療費の概算をご希望の方は早めにスタッフステーションにてお申し出ください。

入院診療費について

- 当院は、厚生労働大臣が指定する「DPC(包括支払い方式)対象病院」です。マイナンバー(健康保険証)は通常通り使用できます。また、一部負担金の割合も変わりません。
- 限度額適用認定証や限度額適用・標準負担額減額認定証、高額療養費制度などの各種保険制度は、通常通りご利用いただけます。
- 「DPC」についての詳しいご説明 ▶次ページを参照
- 食事負担金、室料差額や診断書などの自費料金につきましては、別途ご請求させていただきます。室料差額は、入退院の時間に関係なく、入院日・退院日をそれぞれ1日分として計算しています。
- 入院診療費の定期請求は、毎月1回(1日～月末締め)で、翌月12日頃に、請求書を各病室にお届けいたします。

入院診療費の計算方法について

当院はDPC対象病院です

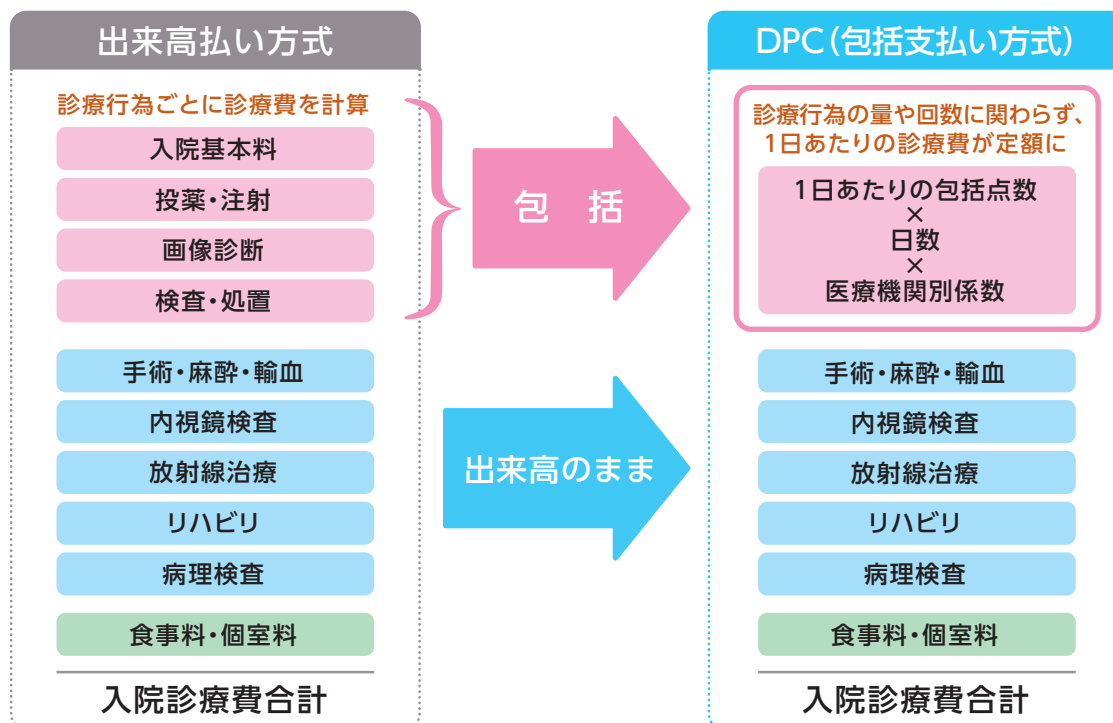
DPC (包括支払い方式) とは？

DPCとは病名や治療内容に応じて定められた1日あたりの定額費用を基本とし、入院診療費を計算する方法です。診療行為ごとに診療費を計算する出来高払い方式とは違い、診療内容に関わらず1日あたりの入院診療費が定額になります。※手術や一部の処置・検査などについては包括項目に含まれないため、出来高払い方式で計算されます。

$$\text{入院診療費} = \text{1日あたりの包括点数}^{\ast 1} \times \text{入院日数} \times \text{医療機関別係数}^{\ast 2} + \text{出来高点数}^{\ast 1}$$

※1 点数:1点を10円として計算します。

※2 「医療機関別係数」: 病院の機能に応じて病院ごとに定められている一定の係数。これにより同じ病名・治療でも病院によって診療費の総額が異なります。



DPC入院診療費Q&A

Q. 全ての入院患者がこの制度の対象となるのですか？

- A. 基本的に一般病棟に入院される全ての患者さんがDPCの対象となりますが、次の場合を除きます。
- 病気、病状や処置などの内容によっては、DPCでの計算方法が適用されず、出来高算定方法となる方
 - 治験、労災、交通事故などの自由診療で入院される方
 - 地域包括ケア病棟 (本館4階) へ入院される方

Q. 長期間入院しても1日当たりの入院診療費は同じですか？

- A. 1日あたりの入院診療費は、患者さんの病名や治療内容に応じて決まる区分 (診断群分類) ごとに3段階に区分されており、入院が長くなるほど1日当たりの入院診療費は低くなります。また、入院が長期にわたり診断群分類ごとに定められた入院日数を越えてしまうと越えた日以降は出来高計算になります。

Q. 同じ病気で同じ入院日数なら支払額は同じですか？

- A. 病気が同じでも、出来高部分の治療によって入院診療費に違いが出ます。特に手術、リハビリ、胃カメラなどを行う場合は出来高部分に個人差があります。

Q. 入院診療費の支払い方法は変わりますか？

- A. 入院診療費の支払い方法は、従来の方法と変わりありません。但し、入院後の病状の経過や、治療内容の変化などによって診断群分類が変更された場合は、入院初日に遡って入院診療費の計算をやり直すため、請求額が一部変更となります。退院時などに前日までの支払額との差額調整を行うことがありますので、予めご了承ください。

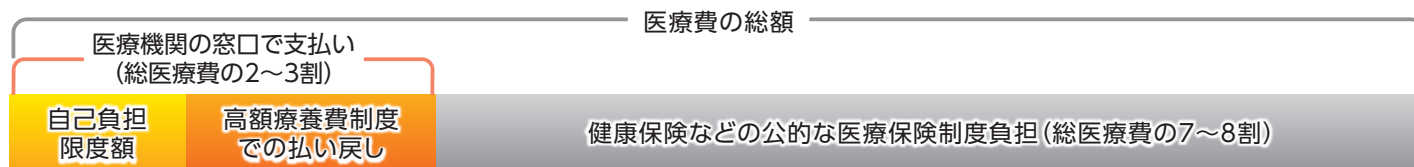
※ご不明な点がございましたら、職員までお問い合わせください。

高額療養費制度

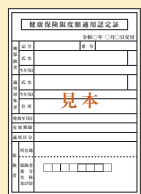
高額療養費制度とは

1カ月(1日から月末まで)に医療機関の窓口での支払い額が一定の金額(自己負担限度額)を超えた場合、超えた額が申請により払い戻される制度です。※食事代や室料差額、保険外負担分は自己負担限度額に含まれません。

また、事前に「**限度額適用認定証**」などの交付手続きを行い、医療機関の窓口に提示することで、窓口での支払い額が**自己負担限度額までとなります**ので、入院前の手続きをお勧めします。(入院された後に手続きを行う場合は、必ず入院された同月中にお願いいたします。)



マイナンバーまたは限度額適用認定証をご利用ください



限度額適用認定証を提示すると、医療機関の窓口での支払い額が自己負担限度額までになりますので、高額療養費制度での支給手続きは必要ありません。申請については右記へご相談ください。

※マイナンバーカードの健康保険証利用の登録がお済みの方で、**限度額認定証に関する情報提供にご同意いただける場合、限度額認定証は不要**です。

協会けんぽ	全国健康保険協会 都道府県支部
国民健康保険	市役所・町村役場
共済・組合健保	各健康保険組合か 職場の担当部署

自己負担限度額と食事療養費

(2025年4月現在)

※制度改定により、記載の区分、金額が変更になることがございます。最新の情報につきましては、ホームページをご確認いただきますようお願いいたします。

ホームページで
最新情報を
ご覧いただけます。



▲専用QRコード

70歳未満の方

保険証と限度額適用認定証(所得区分がオの方は限度額適用・標準負担額減額認定証)を提示することで、窓口での支払い額が自己負担限度額までになります。

所得区分	自己負担限度額	自己負担限度額 (多数該当※1)	食事負担 (1食につき)
ア(標準報酬月額83万以上)	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1%	140,100円	490円
イ(標準報酬月額53万～79万)	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1%	93,000円	490円
ウ(標準報酬月額28万～50万)	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%	44,400円	490円
エ(標準報酬月額26万以下)	57,600円	44,400円	490円
オ(低所得者) (被保険者が市区町村民税の非課税者など)	35,400円	24,600円	230円 (入院90日超は180円)

70歳以上の方・後期高齢者医療制度に加入の方

保険証と高齢受給者証(後期高齢者医療制度に加入の方は後期高齢者医療被保険者証)を提示することで、窓口での支払い額が自己負担限度額までになります。所得区分が**現役並みⅠ・Ⅱ**の方は限度額適用認定証、**低所得Ⅰ・Ⅱ**の方は限度額適用・標準負担額減額認定証の交付手続きも必要になります。

所得区分	自己負担限度額(世帯ごと)	自己負担限度額 (多数該当※1)	食事負担 (1食につき)
現役並みⅢ (標準報酬月額83万以上・高齢受給者証の負担割合3割)	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1%	140,100円	490円
現役並みⅡ (標準報酬月額53万～79万・高齢受給者証の負担割合3割)	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1%	93,000円	490円
現役並みⅠ (標準報酬月額28万～50万・高齢受給者証の負担割合3割)	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%	44,400円	490円
一般 (現役並み・低所得以外の方)	57,600円	44,400円	490円
低所得Ⅱ (被保険者が市区町村住民税の非課税者など)	24,600円		230円 (入院90日超は180円)
低所得Ⅰ (被保険者が市区町村住民税の非課税者など)	15,500円		110円

※1 多数該当 直近12カ月で3回以上高額療養費の支給を受けた場合は多数該当となります。(限度額適用認定証を使用し、自己負担限度額を負担した場合も含まれます。)

診断書・証明書について

お申込み・受け取り窓口

- 診断書や証明書の交付を希望される方は、本館1階外来総合受付でお申し込みください。
▶20ページ(本館1階フロアマップ)を参照
受付時間は月～金(平日)の9時～17時です。(年末年始除く)
※入院中でもお申し込みいただけますが、診断書や証明書は退院が決定してから作成いたします。
※上記以外は受け付けておりませんのでご注意ください。

申込方法

- 本館1階外来総合受付にて「文書交付願い」をお渡ししますので、必要事項をご記入ください。
保険会社などの所定の様式を「文書交付願い」に添えてご提出ください。
※患者さんご本人からのお申し込みが原則です。ご本人以外の代理の方がお申し込みされる場合は「委任状」および代理の方の「身分証明書」が必要となります。

お知らせ

- 診断書などは、利用目的によって記載内容が異なりますので、証明してほしい内容をお知らせください。
- 作成期間として2週間程度いただいております。

注意事項

- 診断書などを受領後、患者さんの要望などにより記載内容を訂正、再発行することはできません。
- 疾患の内容によっては診断書などが複数枚におよぶ場合があります。
- 診断書など作成にあたり、必要事項を確認するために改めて診察を受けていただくことがあります。

お渡し方法

- 出来上がった診断書などは郵送いたします。お申込みの際に別途、郵送料をお支払いいただきます。
- 診断書などには病名など様々な個人情報に記載されているため、郵送をご希望の場合はレターパックをお勧めしております。普通郵便での発送を希望され、万が一お手元に届かなかった場合、当院では責任を負いかねますのでご了承ください。
※レターパックは、本館1階売店で販売しております。▶20ページ(本館1階フロアマップ)を参照
- 診断書などの受け取りにご来院いただく場合はお申し出ください。受け取りには、申し込み時にお渡しする「文書交付願い」と、「診察券」または「身分証明書」を必ずご用意ください。代理の方が受け取りに来られる場合は、「文書交付願い」と「委任状」および代理の方の「身分証明書」をご用意ください。ご用意のない場合は、お渡しできません。

診断書・証明書料金表

文書名	文書料金(税込)
診断書(病院様式)	3,300円
入院・通院証明書(保険会社)	5,500円
難病臨床調査個人票	4,400円
年金診断書(厚生・国民)	5,500円



※ご不明な点があれば、本館1階外来総合受付へお問い合わせください。

各種相談窓口のご案内

ホームページからも
ご覧いただけます。



▲専用QRコード

当院では、患者さんやご家族からの医学的なご質問・生活上および入院上のご不安など様々なご相談をお受けする窓口を設置しております。ご相談がございましたら、お気軽にお立ち寄りください。

※ご相談により患者さんの権利が侵害されることはありません。守秘義務を厳守し、ご相談をお受けします。

※入院中のご相談は、各病棟の専任の担当者にお声かけください。

対応時間

月～金(平日) 9:00～13:00 14:00～17:00



患者相談窓口 【本館1階】

▶20ページを参照

患者相談窓口では、患者さんやご家族から病気に関する医学的なご質問や、生活上および入院上のご不安、医療安全に関する事など様々なご相談をお受けしております。何かご心配な事がございましたら、看護師・メディカルソーシャルワーカー・薬剤師・医療安全管理者など適切な担当者と連携を取りながら丁寧に対応します。

このようなご不安ございませんか？お気軽にご相談ください。

- 医療相談 ● 病気の内容、症状、病気に伴う苦痛、副作用など ● 治療、検査、薬に関する内容
- 医療安全 ● 医療安全に関する内容 ● 医療に関する疑問や相談、ご意見など
- 各種制度 ● 高額療養費制度、社会福祉制度、介護保険、介護サービスなど

がん相談支援センター 【本館1階】

▶20ページを参照

当院ではがん専門相談員を配置し、患者さんやご家族のがん医療に関するお悩みやご質問を面談、またはお電話にてお受けしております。

ご相談内容に応じて様々な専門職と連携しお悩み・問題解決に努めておりますので、お気軽にご相談ください。

※他の病院で治療を受けている患者さんもお利用いただけます。

※がんに関する各種パンフレットも本館1階・東館1階に設置しておりますので、ご希望の方はご自由にお取りください。

がんのこと、1人で抱え込んでいませんか？ お悩みお聞きします。

- 病気と日常生活のこと ● 治療、副作用のこと ● 仕事との両立 ● 緩和ケアについて
- これから先のこと(アドバンス・ケア・プランニング) ● セカンドオピニオンを受けたい など

入退院支援センター 【本館5階】

▶21ページを参照

入退院支援センターでは看護師やメディカルソーシャルワーカーを配置し、入院に関する説明や退院準備のサポートなどを行っております。病棟看護師・薬剤師・栄養士などの他部門や、他施設とも連携を取りながら、入院前から退院後まで患者さんやご家族が安心して過ごせるよう支援いたします。

入院生活・退院後の生活についてご不安がございましたらご相談ください。

- 入院時支援 ● 入院時の手続きや準備について ● 入院中のお薬や食事について
- 退院支援 ● 転院について ● 介護について ● 在宅医療について ● 福祉サービスについて など

本館 1 階フロアマップ

ホームページからも
ご覧いただけます。



▲専用QRコード

外来総合受付

[平日] 9:00~17:00

診断書や証明書を発行ご希望の方は、こちらにお越しください。



会計窓口

[平日]
9:00~17:00



自動精算機

終日 利用可能



ATM 西日本シティ銀行



[平日] 9:00~19:00
[土曜] 9:00~17:00
[日祝日] 利用不可

※年末年始の利用時間は異なる場合があります。



入院受付



売店

入院用品、日用品、雑誌、お菓子、お弁当など取り揃えております。



[平日]
8:00~19:00
[土・日・祝]
10:00~17:00
※13:30~
14:30は閉店

患者相談窓口

☎092-291-3434 (代表)
[平日] 9:00~13:00
14:00~17:00

がん相談支援センター

☎092-291-3452 (直通)
[平日] 9:00~13:00
14:00~17:00



入院の準備

入院中の過ごし方

支援体制について

退院・入院費用について

相談窓口・施設案内

病院敷地図・立面図

ホームページからも
ご覧いただけます。



▲専用QRコード

病院敷地図



東 館	
8F	東館8階病棟
7F	東館7階病棟
6F	東館6階病棟
5F	東館5階病棟
4F	東館4階病棟
3F	手術室 心臓・血管造影室 病理診断科
2F	泌尿器センター・消化器病センター 外科・婦人科・外来化学療法室 検査部門 結石破砕室・透視下手術室
1F	総合案内 CT・MRI室
B1F	放射線治療・RI室 ハイパーサーミア室

衣類などの
レンタル所

庭 園



本 館	
8F	リハビリテーション室①
7F	歯科・口腔外科 訪問看護ステーション おおはま
6F	管理部門
5F	入退院支援センター リハビリテーション室②
4F	本館4階病棟 (地域包括ケア病棟)
3F	本館3階病棟
2F	健康管理センター 内視鏡センター
1F	外来総合受付・入院受付 内科・整形外科・脳神経科 医療連携室・検査部門 患者相談窓口・がん相談支援センター
B1F	管理部門

庭 園



病院立面図

南 館	
	管理部門
	管理部門
	管理部門 糖尿病教室
	管理部門
	薬剤科・売店

別 館	
	管理部門
	管理部門
	管理部門
	腎臓病センター (CKD外来・血液透析) 救急外来

こちらに関係資料を入れて保管ください。

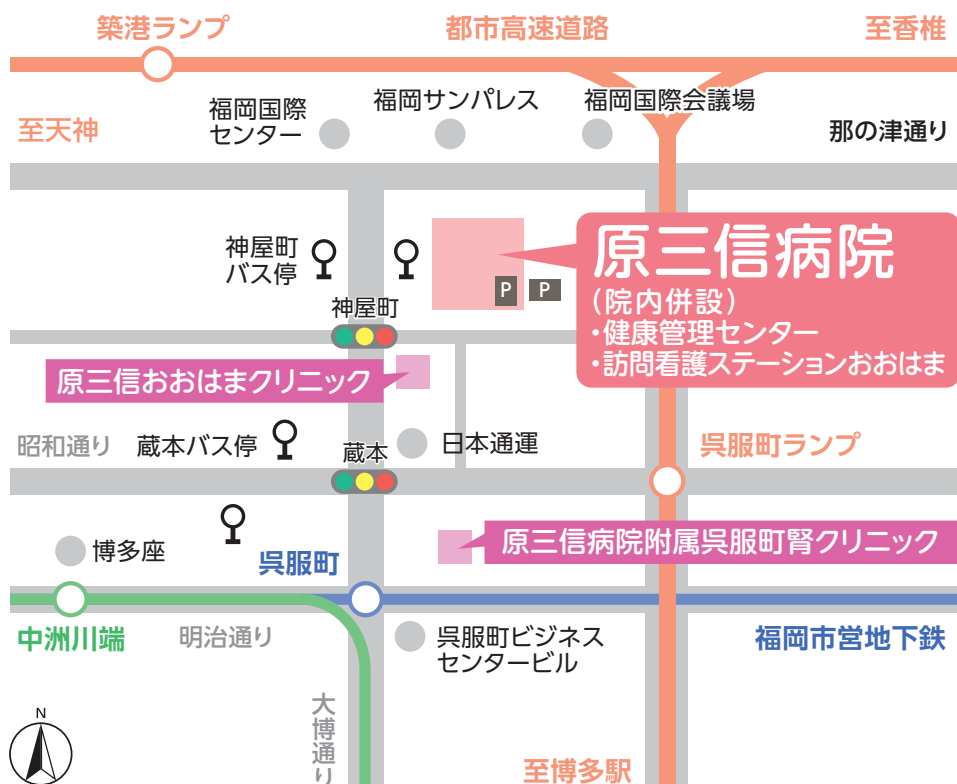
HARASANSHIN
HOSPITAL



ご意見箱のご案内

当院では、病棟および外来に「ご意見箱」を設置しております。診療のこと、職員の対応のこと、設備のこと、環境のことなど、お気づきの点やご意見、ご要望がございましたらご意見箱へ投函してください。





※当院は救急指定病院です。救急の患者さんは24時間365日診療を行っております。



医療法人

原三信病院

〒812-0033 福岡市博多区大博町1番8号

<https://www.harasanshin.or.jp/>

TEL.092-291-3434 (代表)

FAX.092-291-3424 (代表)



2025年4月現在

駐車場のご案内

立体駐車場のご利用時間	第1立体駐車場	第2立体駐車場
月～金(平日)	8:00～19:00	8:00～19:00
土曜日		8:00～19:00
日祝日		8:00～19:00

※駐車場のご利用時間は変更になる可能性があります。

ご利用目的	ご利用時間・回数	料金
外来診療 健康診断	1回/1日	300円
当日の手術 入退院の送迎	1回/1日	300円
お見舞い 付き添い	1時間	300円 以降30分 ごと100円
夜間駐車(泊) 19:00～翌8:00	1泊2日	1,000円

※混雑緩和のため、入院時の駐車場のご利用はお控えいただきますようお願いいたします。



▲専用QRコード

ホームページからも
ご覧いただけます。

病院への交通アクセス

ホームページからも
ご覧いただけます。

西鉄バス

「神屋町」バス停前
「蔵本」バス停より 徒歩約3分

地下鉄

「呉服町」駅より徒歩約5分

タクシー

西鉄福岡 天神駅より 約5分
JR博多駅より 約5分
福岡空港より 約15分

博多港・埠頭(ベイサイドプレイス)より
徒歩約10分

* 博多埠頭からはシャトルバス
(送迎バス)(無料)を運行しております。



▲専用QRコード